

優秀賞

## 身につけなければいけないこと

福岡教育大学付属久留米小学校 3年 横田 和樹

「ドン。」

何かにつきとばされたぼくは、わけもわからず、ビクビクしてなき出してしまいました。これは、ぼくが五さいの時にあった事この記おくです。

お母さんと手をつないで横だん歩道をわたろうとしたら、前から来た自転車がぼくにぶつかったのです。自転車の女の人は真っ黒のサンバイザーをつけて、顔がおおわれていたので、前が見にくいじょうきょうでした。そして、仕事に行くためにとても急いでいたそうです。ちょっとした不注意で事はおきてしまいました。

ぼくの足にはタイヤのあとがつかいましたが、軽しょうですみました。自転車の女の人は何度もあやまってくれました。おまわりさんも来て、どうしてぶつかってしまったのか調べてくれました。ぼくの話をやさしく聞いてくれたのでとても安心したのをおぼえています。

今、ぼくは自転車に乗ることができます。でも、まだ一人で出かけることはできません。自転車は車のなかまで、ルールやマナーをしっかり身につけてから乗らないととてもきけんだからです。今度はぼくが、だれかをきずつけてしまうかもしれません。そうならないためにも、どんな場所がきけんなのか、どんな時があぶないかを知ることが大切だと思います。

自転車に乗ると、歩くよりも速く目的地へつくことができます。空気もよごれないので、地球かんきょうにもやさしいです。とてもべんりな乗り物なので安全に気持ちよく自転車に乗れるよう、これからしっかりルールとマナーを身につけていきたいです。